

りんご

vol.
117

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和6年1月発行



謹
賀
新
年



左上： 放送大学創立 40 周年記念式典 下：面接授業（是川遺跡）



特集： 2023 年度第 2 学期 単位認定試験 2024 年度第 1 学期 面接授業

- 2 | 「巻頭言」今井 正浩 先生
- 3 | “Professional Report” 北嶋 結 先生
- 4 | 公開講演会レポート、退職の挨拶
- 5 | 学生団体行事レポート
- 6 | 2023-2 単位認定試験のご案内

- 8 | 2024-1 面接授業について
- 10 | 次学期へ向けての手続き
- 11 | 1・2・3・4月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース
放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

巻頭言

—かんとうげん—

「古典ギリシア語・ラテン語の 学習のすすめ」

青森学習センター客員教員

今井 正浩



わたしの専門は西洋古典学（古代ギリシア・ローマ時代の歴史・社会・文化について研究する学問）です。その時代の原典資料等を読みこなすためのスキルとして、古典ギリシア語・ラテン語の知識はどうしても必要になります。

ただ、わたし自身は、最初からその方面の研究を目指して、古典ギリシア語・ラテン語の学習を始めた、というわけではありません。

わたしが古典ギリシア語・ラテン語に関心を持ったのは、大学1年生の時、同じクラスにいた西洋史志望の友人から古典ギリシア語の基礎文法書を見せてもらったのがきっかけです。

その時の衝撃は、今でも忘れることができません。「自分の知らない、新しい世界がそこにある」ことを実感させられたというわけです。それは、中学校に入学して、英語の勉強に取り組み始めた時の衝撃に匹敵するものでした。

わたしたちが外国語の学習に関心を持つのは、なぜでしょう。理由は各人によってさまざまですが、その根底にあるのは「自分の知らない、新しい世界に触れてみたい」という強い願望ではないでしょうか。

もちろん、古典ギリシア語・ラテン語の原典に限らず、外国の作品は、日本語の翻訳で読むこともできます。わたし自身、高校生の頃に、プラトンの初期対話篇のうちのいくつかの作品を日本語の翻訳で読んだことがあります。

けれども、外国の作品を翻訳で読むのと生（なま）の原典で読むことには、雲泥の差があります。

後者の場合、作者の思考の過程や感情の吐露を作者自身の言葉を通して、直（じか）に追体験することができる、というわけです。そこに、外国の作品を生（なま）の原典で読むということの醍醐味があるのではないのでしょうか。

たしかに、古典ギリシア語・ラテン語の場合、その学習には、ほかの外国語の学習と比較して、何倍もの時間とエネルギーを費やすことになるかも知れません。「わたしには全く見当もつかない（チンプンカンプンだ）」というのを、英語では It is all Greek to me と言います。これは、古典ギリシア語がとても難解な言語であるということから来た慣用表現であると考えてよいでしょう。

けれども、そのような高いハードルを乗り越えて修得した古典ギリシア語・ラテン語の知識をもとに、現代ヨーロッパの歴史文化の源流にあたとされる西洋古典古代の著作物に直接触れることができることの喜びは、とてつもなく大きいと言えます。

皆さんが古典ギリシア語・ラテン語の学習にチャレンジされることを大いに期待するものであります。挑戦に祝福あれ！



Professional Report

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）ってなんだろう（1）

客員教員 北嶋 結

（弘前大学大学院保健学研究科 助教）

話題のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）について簡単に紹介します。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）は、「人生会議」という愛称がつくくらい日常的に親しみ深く取り入れてほしい考え方の一つとして、国で推奨しているものになります。

では、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）ってなんでしょう。日本老年医学会では、「ACPは将来の医療・ケアについて、本人を人として尊重した意思決定の実現を支援するプロセスである」と提言しています。語源をみてみますと、Aはadvanceで「もしもの時に備えて、前もって」、Cはcareで「大切なこと、関心を寄せているところ」、Pはplanningで「継続的に何度も話し合って共有する」という意味です。つまり、意思決定の実現を支援するプロセスともいえます。

人は意思決定を日常的に行っています。例えば、食べたいものや行きたいところ、着たい洋服等を選択して、生活を送っています。この日常的な意思決定には、非日常的な意思決定が含まれます。例えば、お金の問題や事故が起きたとき等の意思決定のことをさしています。この非日常的な意思決定には、医療における非日常の意思決定も含まれます。この医療における意思決定が、ACPで話し合うところになります。

ここで一つ考えてみましょう。日常的な意思決定をしていない人が、非日常の意思決定を行うことができるのでしょうか。アメリカにおける研究データではありますが、終末期において意思決定が不可能な患者は約70%と報告されています。日本人のデータではありませんが、同じくらい、あるいはそれ以上に意思決定ができないかもしれません。

それでもすすめていかなくてはいけないACPですが、もう少し語源から考えてみましょう。Pの「継続的に何度も話し合って共有する」というところに着目します。なぜ、継続的に話し合う必要があるのでしょうか。人は物事を決めるとき、即決できる場合、迷う場合、最終的に自分で決められない場合等があります。また、焦っているとき、心穏やかなとき、不安なとき、等それぞれ置かれている状況や心理状態によって、同じ課題でも決断した結果が異なってきます。人の思いは揺らぎ変わっていくものととらえることが自然な考え方といえるでしょう。同じ課題でも、置かれている状況や心理状態によって揺れ動くことを踏まえて、その人の傾向を掴んでいくことが求められます。そのため、「継続的に、何度も」という持続的な視点が必要になってきます。

公開講演会レポート

「健康長寿に挑む ～老化とのつきあい方を探ろう～」

講師：弘前大学 教育学部 教授 戸塚 学 先生

（放送大学青森学習センター 客員教授）

日時：2023年12月9日（土）13:30～15:00

場所：つがる市立図書館 セミナー・学習室

（つがる市柏稲盛幾代 41 イオンモールつがる柏内）



放送大学青森学習センターとつがる市立図書館とのコラボ企画として、「健康長寿に挑む ～老化とのつきあい方を探ろう～」と題し、参加者の皆様と簡単な運動を交えながら、老化と上手くつきあうための講演会を開催しました。

退職のあいさつ

✿ 受付・図書担当 煤田 紗夜香

放送大学でお世話になり、あっという間に任期満了を迎えてしまいました。

日々図書受付担当として業務に従事する中で、驚かされることがたくさんありました。

まずは、幅広い年齢の方々が学生として在籍されていることにビックリし、日々無心で学ぶその姿に、時に熱く議論を交わしている様子に、その熱量の凄さに圧倒されました。

そして「世代を超えて交流を交わせるのも、この放送大学という場所ならではの。」と学生さんに教えられ、なるほど！と納得しました。

私も刺激を受け、己の生活を見つめ直すきっかけを与えていただき、色々と踏み出すことが出来ました。

退職するにあたり、微力ながらも、皆様方の学生生活のお役に立てたのであれば幸いです。

最後に放送大学で出会えた全ての方々に感謝申し上げます。

この5年間、本当にありがとうございました。



学生団体行事レポート

学友会

「そば打ち」 開催日：令和5年11月11日(土)

開催会場：弘前文化センター 調理実習室(弘前市下白銀19-4)

■参加者：菊谷 洋子

以前よりB Sテレビ放送で放送されている、放送大学の授業科目に興味があり2023年度第2学期より科目生として入学しました。

当初、科目の学習のみが放送大学での活動と思っていましたが、入学してみると地域大学の先生方による面談授業やゼミ等多様な学びの場の多さにワクワクしながら学生生活を進めています。

また学舎に通う大学と同様に学生間の交流の場もあると知り、学友会への参加を決めました。社会人になると、生活が自身の所属する業種の限られた知識及び人間関係になっている人が多いと思います。私もその一人です。様々な人との交流を楽しみに、去る11月11日に開催された学友会主催のそば打ち会及び懇親会に参加させていただきました。

初めての蕎麦打ち、初めて会う先輩方、目まぐるしい情報量に四苦八苦しながらも、放送授業には無いリアルタイムでの「見て・触れて・実践して」の学習を楽しみました。

授業の世界も楽しいのですが、一步学舎の外に出て社会の中に入ると人と人の関係性が大きな比重を占めているように感じます。多様なグループに属する先輩方や同期生のお話を懇親会で聴き、自分の知見が広がりました。

沢山の学びの機会に参加させていただき、楽しい学生生活を送りたいと思えました。今回は参加させていただきありがとうございます。

■参加者：木村 聡「初めてのそば打ち体験に参加して」

4月に入学して、放送大学での勉強にも慣れてきた今日この頃。「せっかく放送大学に入学したからには放送大学ライフを味わい尽くしたい」と思い、学友会のそば打ち体験に参加してきました。

そば打ちは簡単そうに見えて難しい…ということは様々な場面で知っていたつもりでしたが、やはり実際に体験してこそ理解できるというもの。もともと手先が不器用なので切る作業が特に難しく、思っていた以上に太くて噛み応えのあるそばに(決してうどんではありません。断じて!)仕上がってしまいました。ちょうど通信指導期間中ということもあり勉強に一層力を入れていた自分にとって、心も体もほぐれるような楽しい時間を過ごすことができました。

今回初めて学友会の活動に参加しましたが、学友会の皆さんが温かく迎え入れて下さったおかげで、あっという間に自分自身も馴染んでいました。ぜひともまた参加できたらと思います。

そして次回こそは、胸を張って「これはそばだ!」と言えるような細さを目指したいです。

ミステリーサークル

ー八戸サテライトスペース ミステリーサークル 第8回文化祭ー

開催日：令和5年11月18日(土)～19日(日)

開催会場：ユートリー4 階研修室(八戸市一番町1-9-22)

11月18日と19日の二日間、文化祭を開催いたしました。放送大学関係者以外の一般客も含め、多くの方々が文化祭を見に来てくださりました。

今回は、継続しているいつものマジックショー、写真展、学習相談コーナー、アカデミックカフェ、小山コーヒークフェのほか、中森明菜っ葉ステージショー、VR体験、オリジナルキーホルダー作りなど、種類を確保できたことで、よりいっそう楽しんでいただけたと思っています。

夏から打合せを始め、各々で企画を立て、準備や練習を重ねてきた成果をきちんと発表でき、「おお、グレードアップしている、やるなあ」と思えるような工夫された点がはっきりと分かりました。明菜っ葉ショーやマジックショーではアンコールの声や拍手によって、大いに盛り上がりました。

朝から夕方までがあっという間で、とても充実した時間を過ごせました。

文化祭終了後もサテライトスペース内に写真を展示しておりますので、ぜひ見ていただけたらと思います。

来年度の文化祭で皆に見てほしいと思うものなどありましたら、サテライト事務に連絡してください。

文化祭やサークルへの参加を通して、放送大学での仲間を作り、大学生活をエンジョイしてほしいと思います。

ミステリーサークル 総長 上野 光弘



2023年度第2学期 単位認定試験のご案内

【試験期間】

Web受験 ▶ 2024 年 1 月 16 日 (火) 9:00 ~ 1 月 24 日 (水) 17:00
郵送受験 ▶ 2024 年 1 月 16 日 (火) ~ 1 月 24 日 (水)《必着》

実施について

Web 受験方式で実施します。(一部科目のみ郵送受験方式で実施します。)

- ▶ インターネットを通じて、試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。
※ただし、各科目には学習センターで受験する場合の試験日・試験時間が設定されており、登録システムの設計上、試験日及び試験時間が同一の科目は同時に2つ以上登録できませんので、ご注意ください。
- ▶ 「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」のみ、郵送受験方式(自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法)で実施します。

1 科目 50 分の制限時間があります。(郵送受験科目除く)

- ▶ 受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、**受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。**(一時停止不可、1 科目 1 回のみ受験可能)
- ▶ 提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合、**制限時間経過時点の解答が自動提出**されます。

「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

- ▶ 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の) 併用式」のいずれかの形式で出題されます。
- ▶ 各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載しています。

Web 単位認定試験体験版を公開しています。

- ▶ 体験版で、**ログインから解答提出までの操作の流れを体験**できます。

Web 受験が困難な方は、申請すれば、学習センター等で受験することができます。

- ▶ ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、Web 受験が困難な方は、**所定の期間内に申請**を行うことで、学習センター等で受験することができます。

センター受験

！ 試験期間中も青森学習センターの開所時間は9:30~18:00となりますので、試験時間割が時間外となる方は、試験時間を変更させていただきます。

学習センター等での受験は事前申請済みの方が対象です。

- ▶ 「授業科目案内」およびシステム WAKABA に記載、またはセンターと日程調整を行った試験日・時限に来所し、学習センター等の**パソコンをご自身で操作して、Web 受験を行います。**
- ▶ 試験を開始する前までは職員がパソコン操作をサポートできますが、試験開始後は、ご自身でパソコン操作をしていただきます。職員はサポートできませんのでご了承ください。

試験日

- 大 学 院…1月16日(火)・17日(水)
- 教養学部…1月18日(木) ~ 21日(日)
23日(火) ~ 24日(水)
- ※1月22日(月)は閉所日。

試験会場

- 青森学習センター：視聴学習室
- 八戸サテライトスペース：視聴学習室
- ※座席は指定です。試験会場入口の掲示物を必ず確認してください。

受験の際に必要なもの

- ☐システム WAKABA のログイン ID・パスワード (事前に入力確認) ☐単位認定試験通知 (受験票)
- ☐学生証 ▶学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。 ☐持込み許可物品 (受験票とともに送付される資料を確認してください。) ☐筆記用具

ログイン方法

「Web 単位認定試験システム」へアクセスするために、システムWAKABAにログインする必要があります。

- ▶ 単位認定試験期間前までに、システムWAKABAにログインできるかどうか確認をしてください。
- ▶ ログインについては入学許可書に記載しています。ログインできない場合、学習センター・サテライトスペースへご連絡ください。



その他

注意事項

- ▶ 「Web 受験」は、試験期間中24時間受験可能ですが、1月24日（水）17時以降は受験できませんのでご注意ください。
- ▶ 解答は必ず受験生本人が作成してください。カンニング、剽窃、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格や懲戒の対象となります。また、試験問題は著作権法により転載、売買、私的利用以外での複製等が禁止されています。違反した場合は、懲戒の対象となります。
- ▶ 閉所日は問い合わせ等に対応出来ませんのでご容赦願います。
- ▶ 大雪・凍結・台風・大雨等による被災、その他不可抗力（大規模な停電等）により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。

結果の発表について

- ▶ 2月下旬にシステムWAKABAおよび、大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験について

- ▶ **今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、次の学期に在籍している場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます（再試験に係る授業料等はかかりません）。**
今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります）。

2024年度第1学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は6,000円です。
- ※放送授業は1科目2単位
- 全8回（90分×7回+45分×1回）の授業を受講し、成績評価は試験、レポート等により行われます。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要があります。
- 選科履修生・科目履修生も履修が可能です。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。



在学生の科目登録

在学生の方は、下記の期間に放送授業・オンライン授業とともに科目登録申請を行ってください。なお、在学生には1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

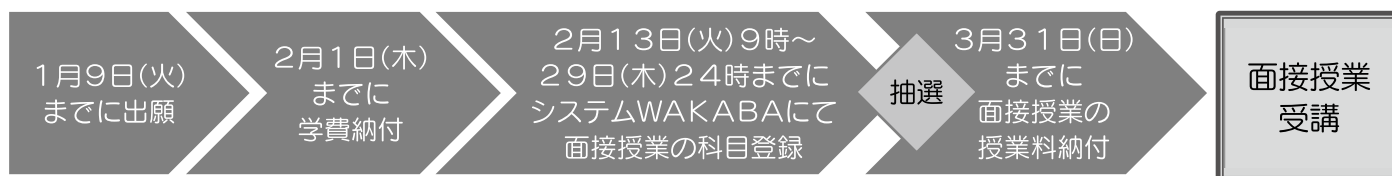
- 「科目登録申請票」による申請期間 … 2月13日(火)～28日(水) 私書箱必着
- システムWAKABAによる申請期間 … 2月13日(火)～29日(木)

入学学期当初から面接授業の科目登録

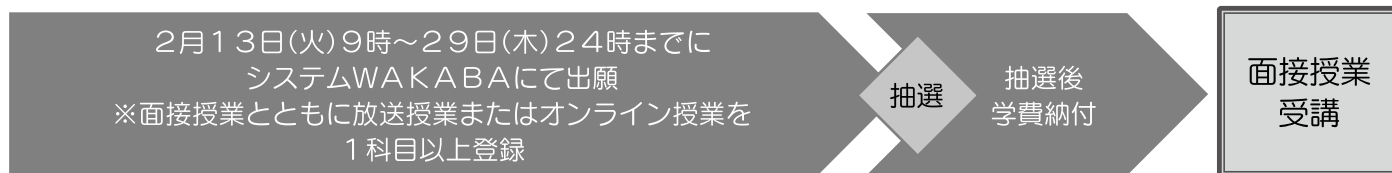
入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

◆新規入学の方

◆再入学の方（過去に在籍または卒業したことがあるが、2023年度第2学期に学籍のない方）



◆継続入学の方（2023年度第2学期末で学籍が切れるため、継続して入学を希望する方）



追加登録

科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、追加登録を受け付けます。科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。

- 空席発表日 … 4月13日(土)12時
- 事前申請期間 … 4月13日(土)12時 ～ 4月17日(水)
- 先着申請期間 … 4月18日(木)～ 各科目の受付期限まで

詳細は、3月中旬～下旬頃に案内チラシ送付にてお知らせします。



2024年度第1学期 面接授業開設科目一覧

青森学習センター

★ … 不測の事態発生時は Web (Zoom) 授業で開講

科目区分	科目コード	クラスコード	科目名	担当講師	会場	日程 (全て1～4時限)	定員
導入科目： 生活と福祉	2636565	K	性の多様性と偏見・差別★	山下 梓 先生	青森学習センター	4月20日(土)～21日(日)	30
導入科目： 人間と文化	2636581	K	ギリシア悲劇の世界観と人間観★	今井 正浩 先生	青森学習センター	4月27日(土)～28日(日)	30
専門科目： 心理と教育	2636603	K	教育と人間・社会★	浅田 豊 先生	青森県観光物産館 アスパム内会議室	4月27日(土)～28日(日)	30
専門科目： 自然と環境	2636638	K	ニンジンで学ぶ量子の世界	岸根 順一郎 先生	青森県観光物産館 アスパム内会議室	5月18日(土)～19日(日)	30
専門科目： 心理と教育	2636360	K	心理学実験Ⅰ	吉中 淳 先生	青森学習センター	5月25日(土)～26日(日)	20
専門科目： 心理と教育	2636433	K	心理検査法基礎実習	田名場 忍 先生 田名場 美雪 先生 高橋 恵子 先生	青森学習センター	6月 1日(土)～ 2日(日)	30
導入科目： 人間と文化	2636590	K	近代青森のあゆみとくらし★	北原 かな子 先生	青森学習センター	6月 8日(土)～ 9日(日)	20
専門科目： 人間と文化	2636620	K	発掘が語る縄文文化	永嶋 豊 先生	三内丸山遺跡縄文 時遊館・さんまる ミュージアム	6月15日(土)～16日(日)	20
専門科目： 社会と産業	2636611	K	戦争と平和ーその法と歴史★	小野 昇平 先生	青森学習センター	6月22日(土)～23日(日)	30
導入科目： 社会と産業	2636573	K	政治学の基礎★	蒔田 純 先生	青森学習センター	6月29日(土)～30日(日)	30
専門科目： 自然と環境	2636646	K	白神学ー白神の動物と植物	中村 剛之 先生 山岸 洋貴 先生 相馬 純 先生	青森学習センター 弘前大学白神自然 観察園	7月 6日(土)～ 7日(日)	17

八戸サテライトスペース

科目区分	科目コード	クラスコード	科目名	担当講師	会場	日程 (全て1～4時限)	定員
導入科目： 生活と福祉	2636662	Q	地域における子育て支援の現状	藤邊 祐子 先生	ユートリー5階 視聴覚室	4月20日(土)～21日(日)	30
専門科目： 社会と産業	2636689	Q	都市交通のモビリティ・デザイン	武山 泰 先生	ユートリー5階 視聴覚室	5月25日(土)～26日(日)	40
専門科目： 心理と教育	2636387	Q	心理学実験 2	金地 美知彦 先生 山本 雄大 先生	ユートリー5階 視聴覚室	6月 1日(土)～ 2日(日)	20
専門科目： 自然と環境	2636700	Q	ものの表面の科学	川本 清 先生	ユートリー5階 視聴覚室	6月 8日(土)～ 9日(日)	40
基盤科目： 外国語	2636654	Q	やさしい韓国語と韓国文化	崔 桓碩 先生	ユートリー5階 視聴覚室	6月15日(土)～16日(日)	40
専門科目： 自然と環境	2636719	Q	環境と生物ー種差海岸で考えるー	田中 義幸 先生	三陸復興国立公園 種差海岸 インフォメーション センター内	6月22日(土)～23日(日)	20
専門科目： 心理と教育	2636670	Q	心理カウンセリングの基礎を学ぶ	大山 泰宏 先生	ユートリー5階 視聴覚室	6月29日(土)～30日(日)	20
専門科目： 社会と産業	2636697	Q	国際法上の武力行使	柳原 正治 先生	ユートリー5階 視聴覚室	7月 6日(土)～ 7日(日)	40

次学期へむけての手続き

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。1月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。申請は、①郵送 または ②WEB（システムWAKABA）のどちらか一つの方法にて手続きしてください。

申請期間	
郵送	2月13日(火) ～ 2月28日(水) 大学本部必着
WEB	2月13日(火) ～ 29日(木)

※学部生は、放送授業のほか面接授業の科目登録もあわせて行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。

▶電話：043-276-5111(総合受付)

※全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

3月末で学籍が切れる方

継続入学出願が必要です。①郵送 または ②WEB（システムWAKABA）のメニュー欄「継続入学申請」のどちらか一つの方法にて出願してください。 ※なお、下記 (A) ～ (C) にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。

申請期間	
郵送	11月26日(日) ～ 3月12日(火) 大学本部必着 ※「継続入学用出願票」や一般の出願票使用
WEB	11月26日(日) 9:00 ～ 3月12日(火) 17:00 ※WEB出願の場合も 証明書類は各締切私書箱必着

(A) 入学学期当初より面接授業の科目登録を希望の場合
必ず2月13日(火)～2月29日(木)(在学生の科目登録期間)に、システムWAKABA「継続入学申請」にて出願し、放送授業・オンライン授業とともに、面接授業科目を登録申請してください。

※郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業科目の登録ができません。

(B) 2023年度第2学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面の「科目登録欄」の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入して出願してください。その場合は、入学料のみ必要となり、授業料は不要です。

※ただし、2023年度第2学期単位認定試験に合格した場合は、出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

「継続入学用出願票」では出願できませんので、「学生募集要項」を取り寄せたうえで、「全科履修生出願票」にて出願してください。

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「学生募集要項」を入手のうえ出願してください。



卒業見込みの方

本部から送付される「2023年度第2学期末卒業が見込まれる皆さまへ（再入学のご案内）」をご覧ください。次学期も学籍が続く場合と、今学期で学籍が切れる場合では、手続きが異なります。詳細は本部から送付される再入学のご案内、または「学生生活の葉」の「継続入学」のページにてご確認ください。

1月・2月・3月・4月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験
 利用停止期間

感染症拡大や大雨・暴風雪・地震等発生で通学・通勤に危険が伴う可能性が高い場合は、臨時閉所、閉所時間を変更することがあります。

	月	火	水	木	金	土	日
1月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

1 月
4日(水) 臨時閉所日 ※青森・八戸 16日(火)～24日(水) 2023年度第2学期単位認定試験 web 26日(木) 臨時閉所日 ※八戸

	月	火	水	木	金	土	日
2月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29			

2 月
13日(火) 2024年度第1学期科目登録申請 開始 28日(水) 2024年度第1学期科目登録申請 《郵送締切》 29日(木) 2024年度第1学期科目登録申請 《Web 締切》 2024年度第1学期 第1回出願 締切 (教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)

	月	火	水	木	金	土	日
3月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

3 月
1日(金) 2024年度第1学期 第2回出願受付開始 《～3/12 締切》 (教養学部、大学院修士選科生・修士科目生) 24日(日)～31日(日) 図書室・視聴学習室の利用停止

	月	火	水	木	金	土	日
4月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

4 月
6日(土) 2023年度第2学期学位記授与式・ 2024年度第1学期入学者のつどい(青森) 7日(日) 2023年度第2学期学位記授与式・ 2024年度第1学期入学者のつどい(八戸) 13日(土) 2024年度第1学期面接授業 【12時】空席発表・追加登録事前申請 受付開始 《～4/17》 18日(木) 2024年度第1学期面接授業 追加登録先着申請 受付開始 《～各科目の受付期限日》
面接授業
20～21日「性の多様性と偏見・差別」(青森) 「地域における子育て支援の現状」(八戸) 27～28日「ギリシア悲劇の世界観と人間観」(青森) 「教育と人間・社会」(青森)

自動車入構規制日

1月13日(土)～14日(日)

大学入学共通テスト実施のため、弘前大学の駐車場を利用することができません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の提示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

新学期準備に伴う利用停止期間

3月24日(日)～31日(日)

新学期準備のため上記の期間は、図書室・視聴学習室の利用を停止します。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



事務室からのお知らせ



！単位認定試験期間中は下記施設の利用を停止します！

ご迷惑をおかけいたしますが、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

青森 SC : 「視聴学習室・図書室」

八戸 SS : 「視聴学習室」

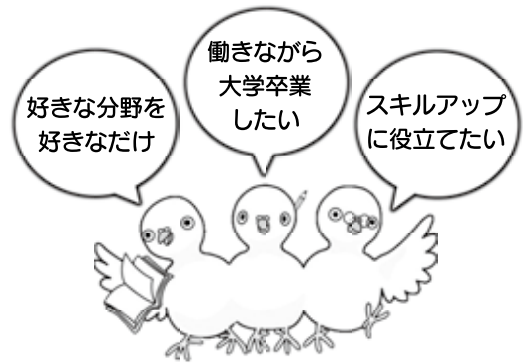
2024年度第1学期入学生募集中 【出願期間：11/26（日）～3/12（火）】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集！

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介します。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの人が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…？もちろん、継続入学生も大歓迎です！

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。



あなたのまわりに「学びたい人」いませんか？
放送大学でともに学ぼう！

住所変更手続きについて ※「学生生活の栞」または「利用の手引き」をご参照ください。

入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』（「学生生活の栞」巻末に様式あり）を下記宛先へ提出してください。**システム WAKABA「教務情報→変更・異動手続」**からも届出できます。

なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局に「転居届」も提出してください。

提出先

教養学部 ➡ 所属の学習センター・サテライトスペース

大学院 ➡ **修士全科目** ➡ 大学本部教務課大学院研究指導係

大学院 ➡ **修士選科・科目生** ➡ 大学本部学生課入学・履修係

通信制大学にとって、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

各種証明書の発行について ※「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料（1通につき200円）を添えてお申込みください。証明書の種類によっては、発行まで2週間程度を要する場合があります。

窓口でのお支払いの際のお願い

つり銭の用意が無い場合、細かい紙幣、小銭をご用意いただくか、事前に支払額のわかる場合は丁度の金額をお持ちください。ご協力をお願い申し上げます。

★郵送での申込方法★

①～③を青森学習センターへ送付してください。

①『諸証明書交付願』 ※学部用、大学院用があります

②発行手数料分の郵便定額小為替証書 ※現金の場合は現金書留をご利用ください

③返信用封筒（長形3号、切手貼付、宛名明記）

※種類・通数により重量が異なりますので、切手は**94円以上**をおすすめします

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 X: @aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400（※視聴・貸出のみ対応）

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内（アウガ8階）

TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400（※視聴・貸出のみ対応）

放送大学ウェブサイト

<https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

